



作品タイトル

オノゴロ島と 海の番人



作者

nono

形式

漫画

●作者について

≫自己紹介

はじめましてnono(ノノ)と申します～。
趣味で漫画を描いております(Amazonインディーズマンガとpixivに作品あります!)。
神社が好きで、よく旅行に行っては参拝しています。あと水族館巡りも最近のマイブームです～。

≫応募のきっかけ

イラストサイトの広告で見つけた時に、「これは!」と思い応募させていただきました。
取材という名目で旅行に行き、写真をじゃんじゃん撮ったのが懐かしい～。

●作品について

≫作品の解説

海の神様の遣いであるサメ達が淡路島に行き、そこで鉄を作る人々に会って…というストーリーです。
「鉄と海で共通するもんか…何かあったかな…」と色々調べた所、古事記の一文に「剣を持つサメの神、サヒモチノカミ」とあって「ピッタリなのがあったわ!」となりました。海の中には無い綺麗な「鉄」はサメ達にはどう見えたのかなあ…

≫思い・受賞コメント

まさか入賞させていただけるとは…本当に光栄です!ありがとうございます!
マニアックなキャラクターを出し過ぎ趣味に寄り過ぎかと思っていましたが…本当に嬉しい限りです。

≫審査員コメント



里中先生

善玉としてのサメのキャラクターがいい。



中村先生

よくまとまっていて説得力がある。

迫力ある表現力に加え、
設定と展開の妙にも拍手。



吉村先生

本作は史実に基づいて制作されておりますが、史実と異なる部分がございます。
これは、作者の創造性を尊重し、作品としての魅力を高めるための表現によるものです。

昔々の
そのまた昔…

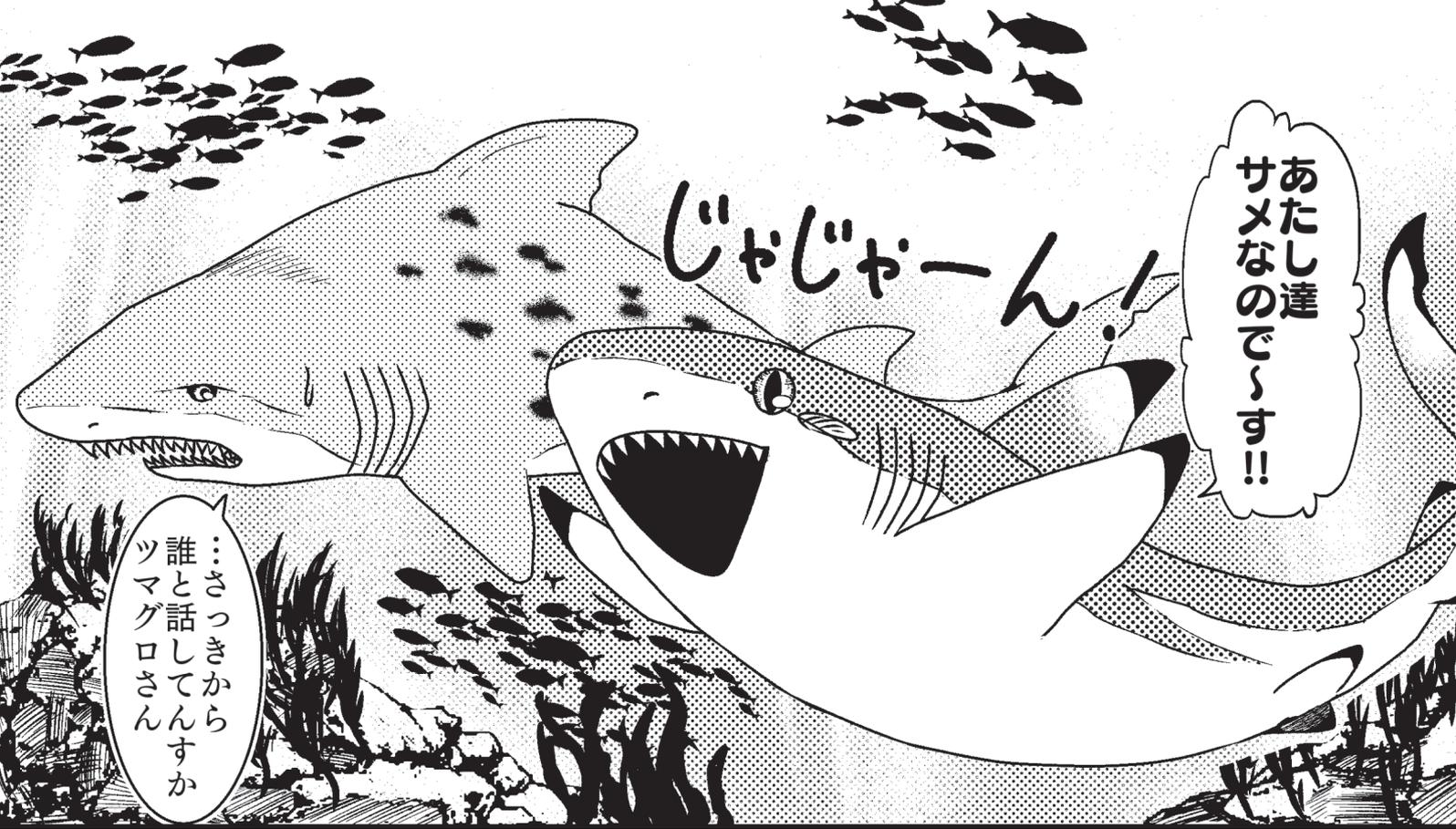
この国には
人間と共に
たくさん
住んで
いました
神々が

そして神々の中で
一番素晴らしい
お方が…

海の神
オオワダツミノ
カミ様！

ワダツミ様は
海の生き物を
従え、海の平和を
守っておられます！

でもって
「海の番人」と称され
海を荒らす悪い奴らと
最前線で戦うのが…



あたし達
サメなので〜す!!

じゃじゃーん!

…さっきから
誰と話してんすか
ツマグロさん



戦って
勝てるんすかね

見つけ次第
応援を
呼べってさ〜

サメの歯が
通らないほど
強いから



今日は
オノゴロ島付近に
凶暴な化け物が
出たと聞きました

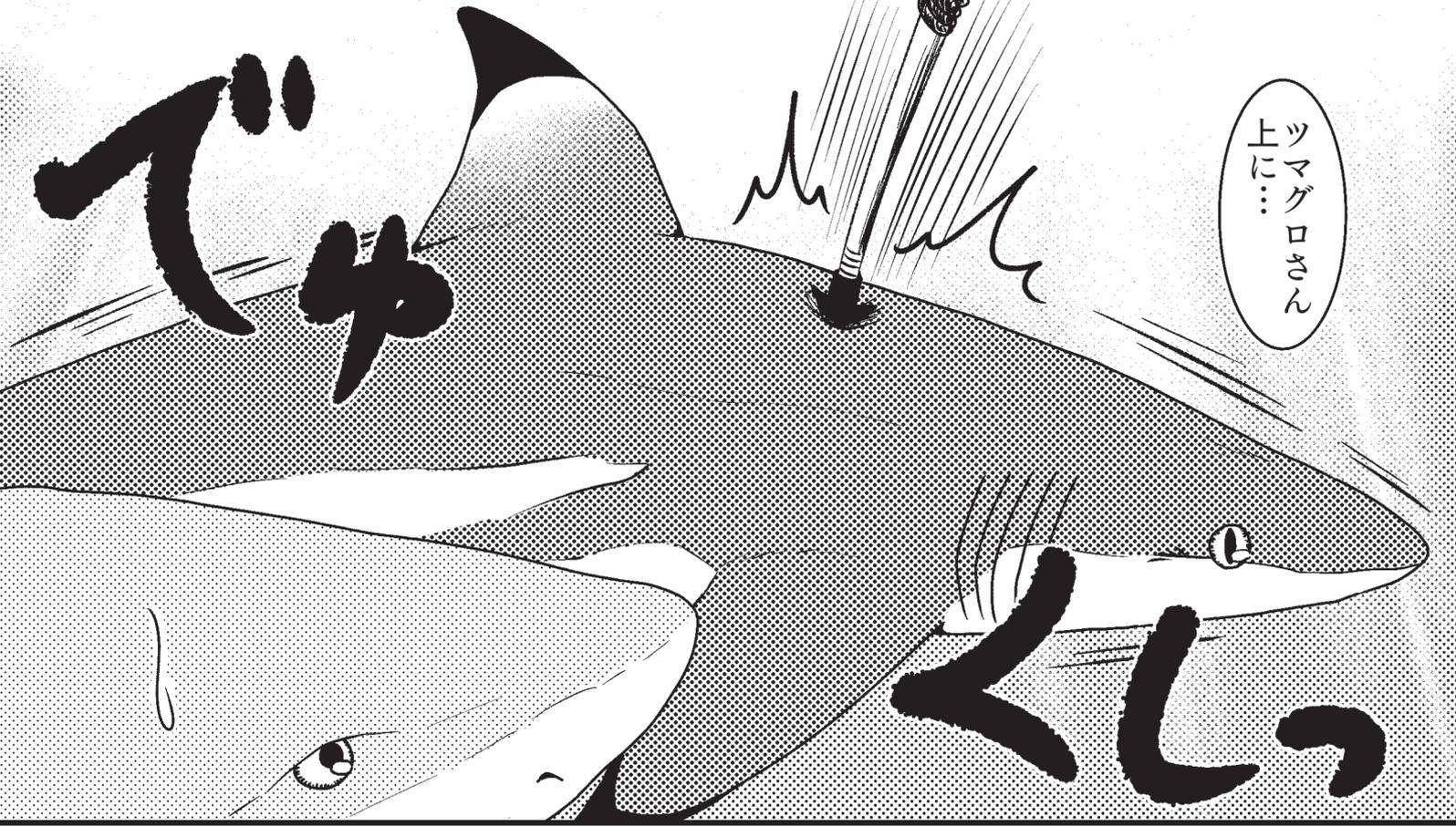
後輩の
シロワニくんと
調査中です!

話聞いてし
くださいよ…



そんな強いなら
弱っちい人間は
恰好の餌に…

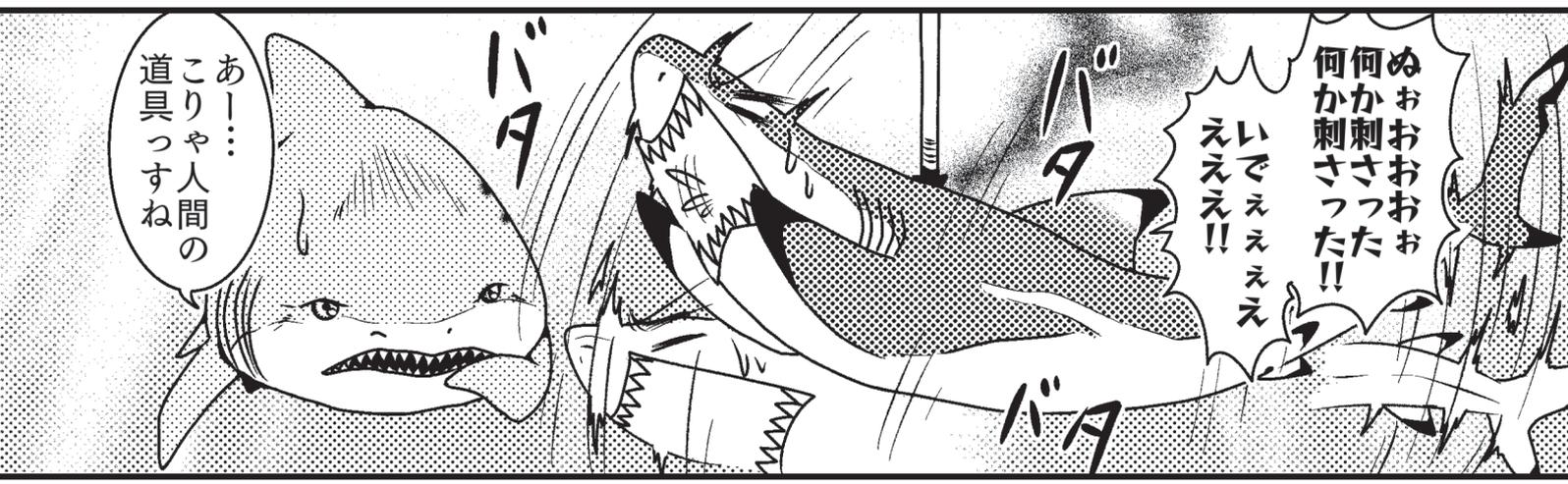
…ん?



ツマグロさん
上に…

でゅ

くし



あー…
こりや人間の
道具っすね

ぬおおおおお
何か刺さった
何か刺さった!!
いでええええ
えええ!!

バ

バ

バ



正体がサメって
バレないように
してくださいよ

あだだだ
引っ張られる!!

ぐい



えっと…
捕まりそうな
時は…と
人間の姿に
変身するってのが
いいんじゃないすか

パラ
パラ

何でそんな
冷静なんだよ!!
早く
助けて!!



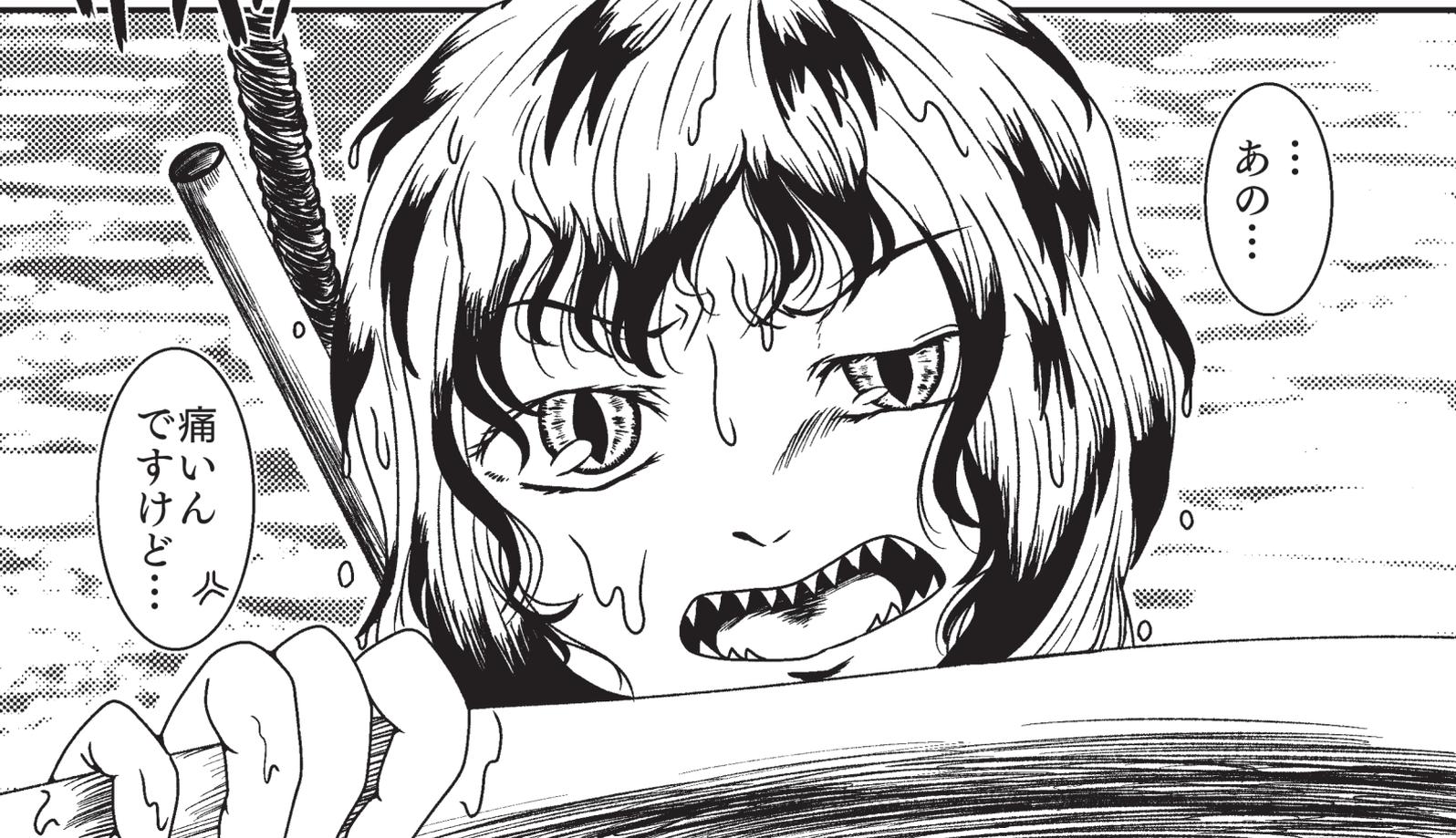
確かに銚は刺さったけど思ったけど...

途中で外れたかな



あれ？なんか急に手応えが...

何だ？大物いたんじゃないのか？



あの...

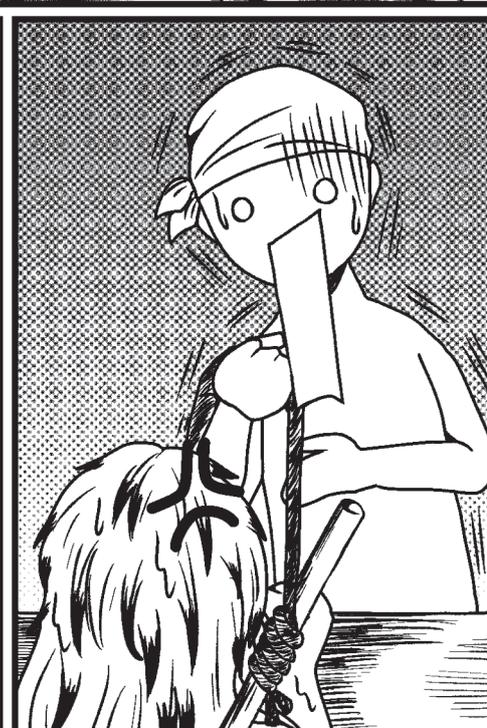
痛いんですけど...



ギガ
ああ
ああ
あ...



その人のツレっす





本っ当に
申し訳ない!!

ったくもおお..
下手すりゃ
大惨事だっつの..

まさか
人に銚を
刺してしまった
なんて..



あんたら
この辺じゃ
見ない顔だな
他の島から
来たのかい?

あー..まあ
そんなトコっす

そうだ..
皆さんに
聞きたい事が..
カリカリ
シカジカ



ここには
手掛かり
ナシっすね..

しげ
しげ



化け物?
うーん..
そんなの
いたかな..

お前は
知ってる?



鉄で鋤も
作れそうだと思って
試作してもらったんだ

ああ…そりゃ
鉄だよ
オレのムラでは
鉄の道具を
作ってるんだ



ねえ
コレって
骨でも石でも
ないよね…
何でできてんの？



そんな
スゴイの？
鉄って



聞き込みしたいなら
ムラに来てみたら
いいんじゃないかい？

ムラには鉄を求めて
色んな人が
集まって来るんだ…
「鉄が欲しけりゃここ」
って感じでね



山の上だから
ちよっと
歩くけど…

ああ…
じゃあオレが
案内するよ！



そのムラって
どこに
あるんすか？

かてー



おおー
海が見えるー！

高い所にあると
周りの状況が
分かり易いんだ

ホラ
ここが
ムラだよ！



うわー本当に
たくさんいる！

こんなに人が
集まるとは：
スゴイっすね
鉄って



まあ：
あつちで詳しく
話してくれよ

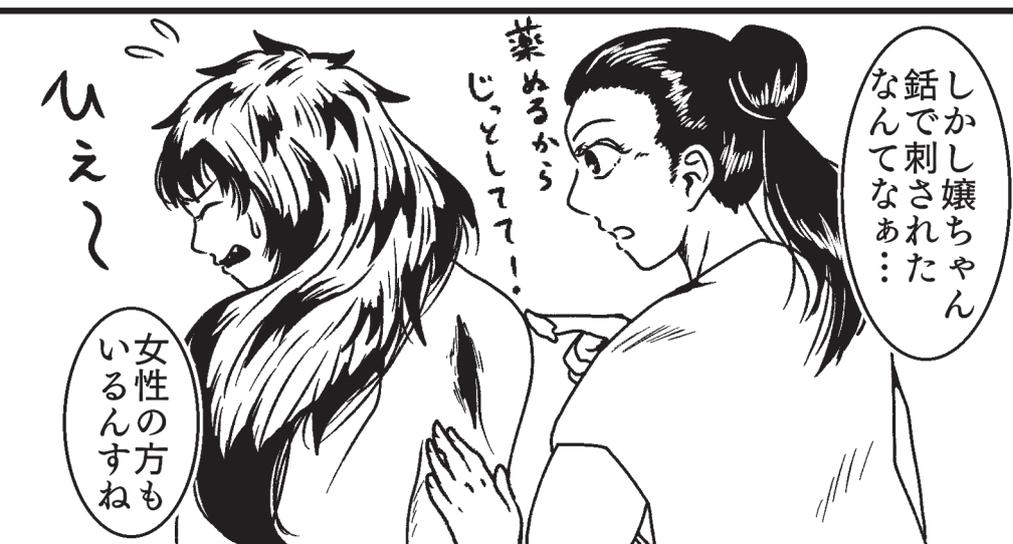


それはそれは
ゴキゲンな
威力でしたわ(怒)

何が
あつた…



よっおかえり
話どーだった？



しかし嬢ちゃん
銚で刺された
なんてなあ…

女性の方も
いるんすね



ここで
鉄を加工
してるんだ
あの袋で
空気を送って
火の強さを
調節すんだ！
そんで鉄を熱して
叩いて形作り！

すげえ…



鉄を加工する
技術なんて
初めて見ました

ああコレはな…
おれ達の先祖が
伝えて来た
技術なんだよ



ご先祖はね…
船を操るのが
上手だったのよ

はえ…すげえ…
人間なのに
海に慣れてんだね



先祖達は
海を渡って遠く…

大陸の
鉄器を作る技術を
習得し…この島で
鉄器作りを始めたんだ



この辺は
潮の流れが複雑な
場所が多いから…

それで
船の扱いても
鍛えられたワケ



あの…少し
聞きたい事が
あるんすけど…

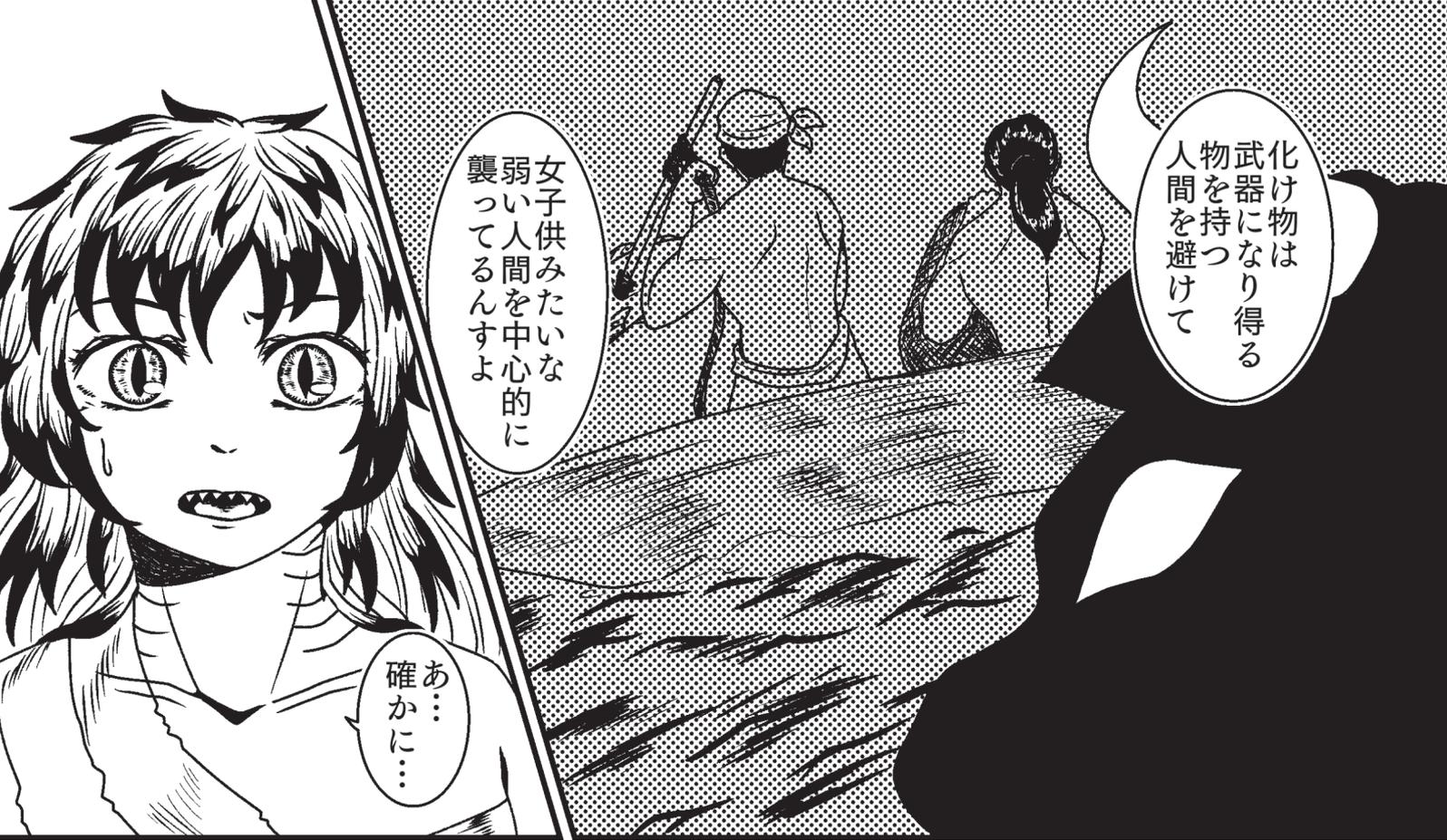


皆さんは船に
乗られますか？

ん…まあ
漁に行く
奴とか…

鉄器を
他の島に
持ってくとか…





化け物は
武器になり得る
物を持つ
人間を避けて

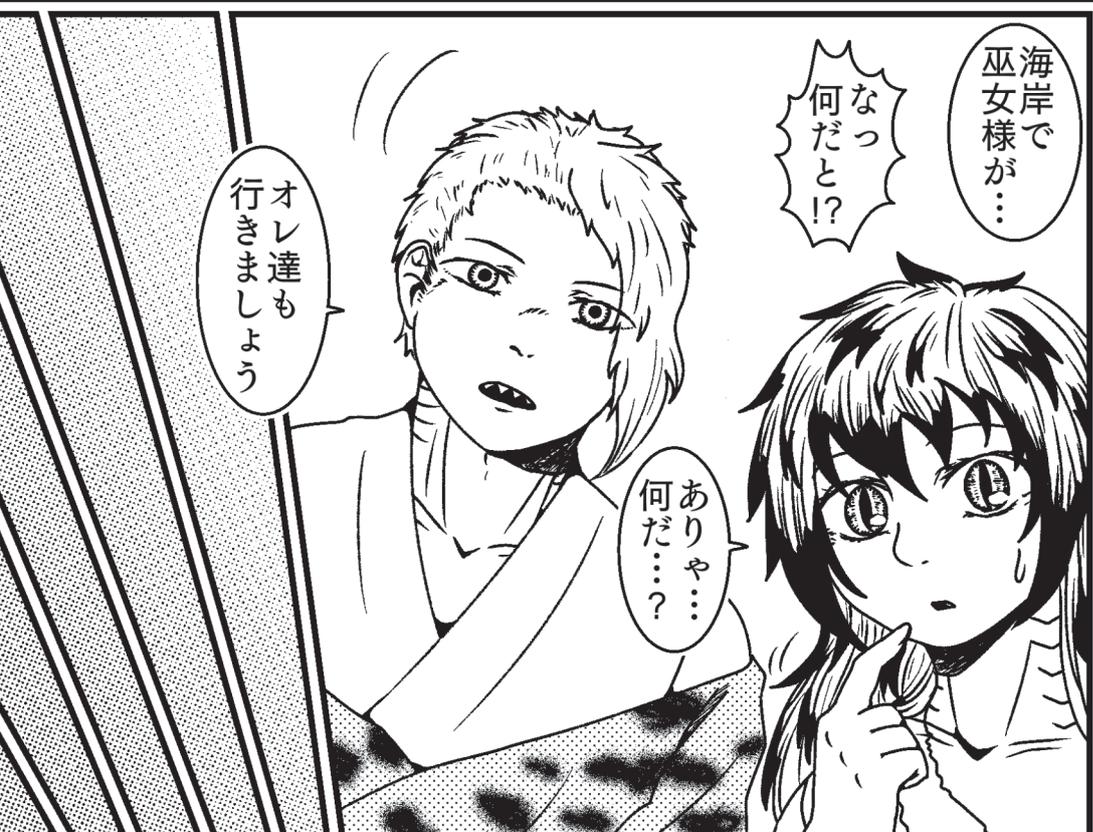
女子供みたくない
弱い人間を中心的に
襲ってるんすよ

あ…
確かに…



何なら男は皆
武器を持つてるって
考えてるかも
しれないな

なんつて
小賢しいヤツ!!
あたし達も
武器持つて
やろーかね!!



海岸で
巫女様が…

なっ
何だ?!?

ありや…
何だ…?

オレ達も
行きましよう



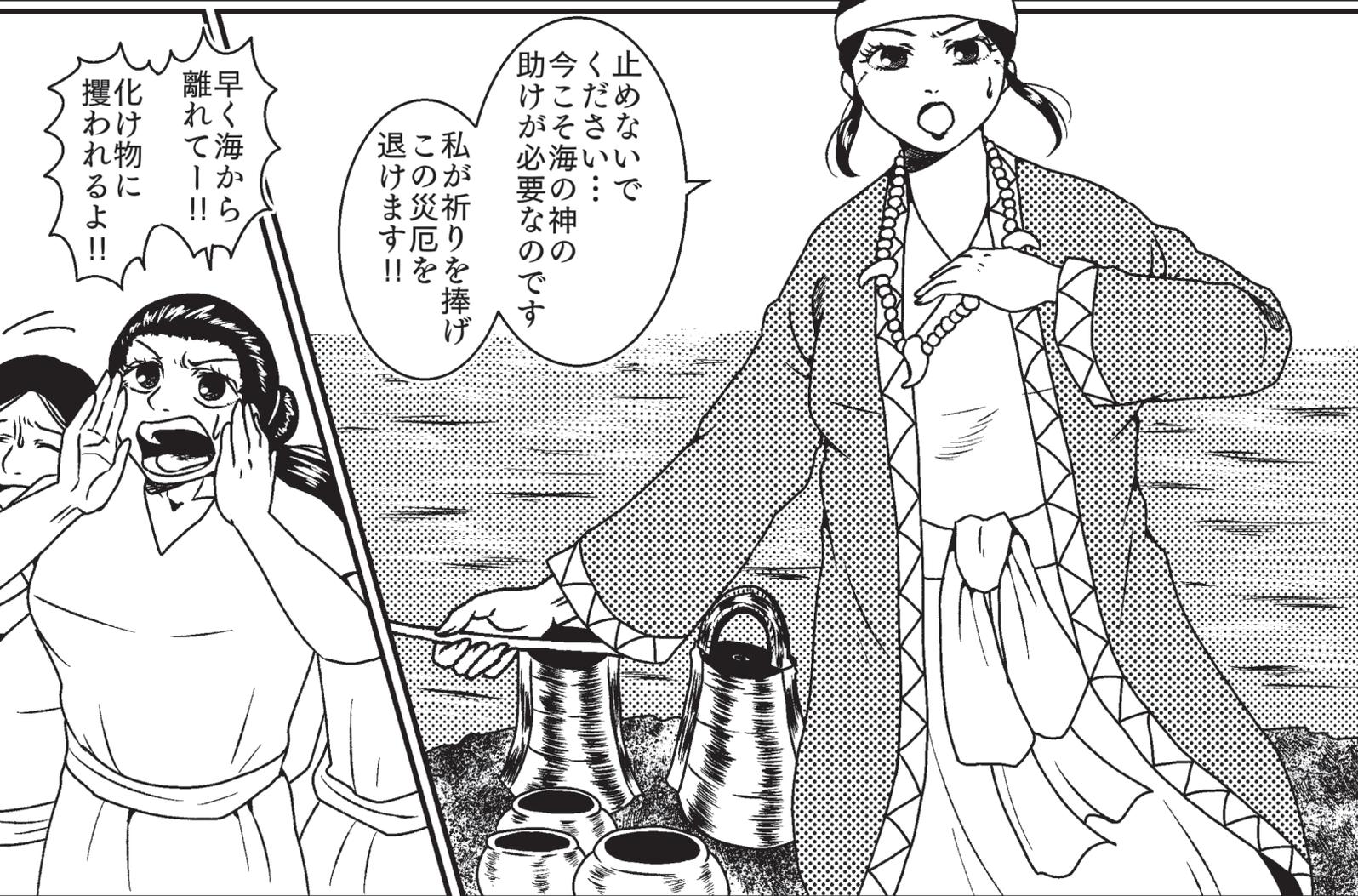
おい誰か
来てくれ!!

巫女様
戻って来てー!!

そっちは
危ないよ!!

止めないで
ください!!
今こそ海の神の
助けが必要なのです
私が祈りを捧げ
この災厄を
退けます!!

早く海から
離れてー!!
化け物に
攫われるよ!!



ムラの祭祀をしてる
巫女様なんだが...
どうも仕事熱心過ぎる
ところがあってな...

...あれ?
嬢ちゃんは...

海の神よ
我が祈りを
聞き届け給え...

ねえコレも
鉄のヤツ?
どう使うの?

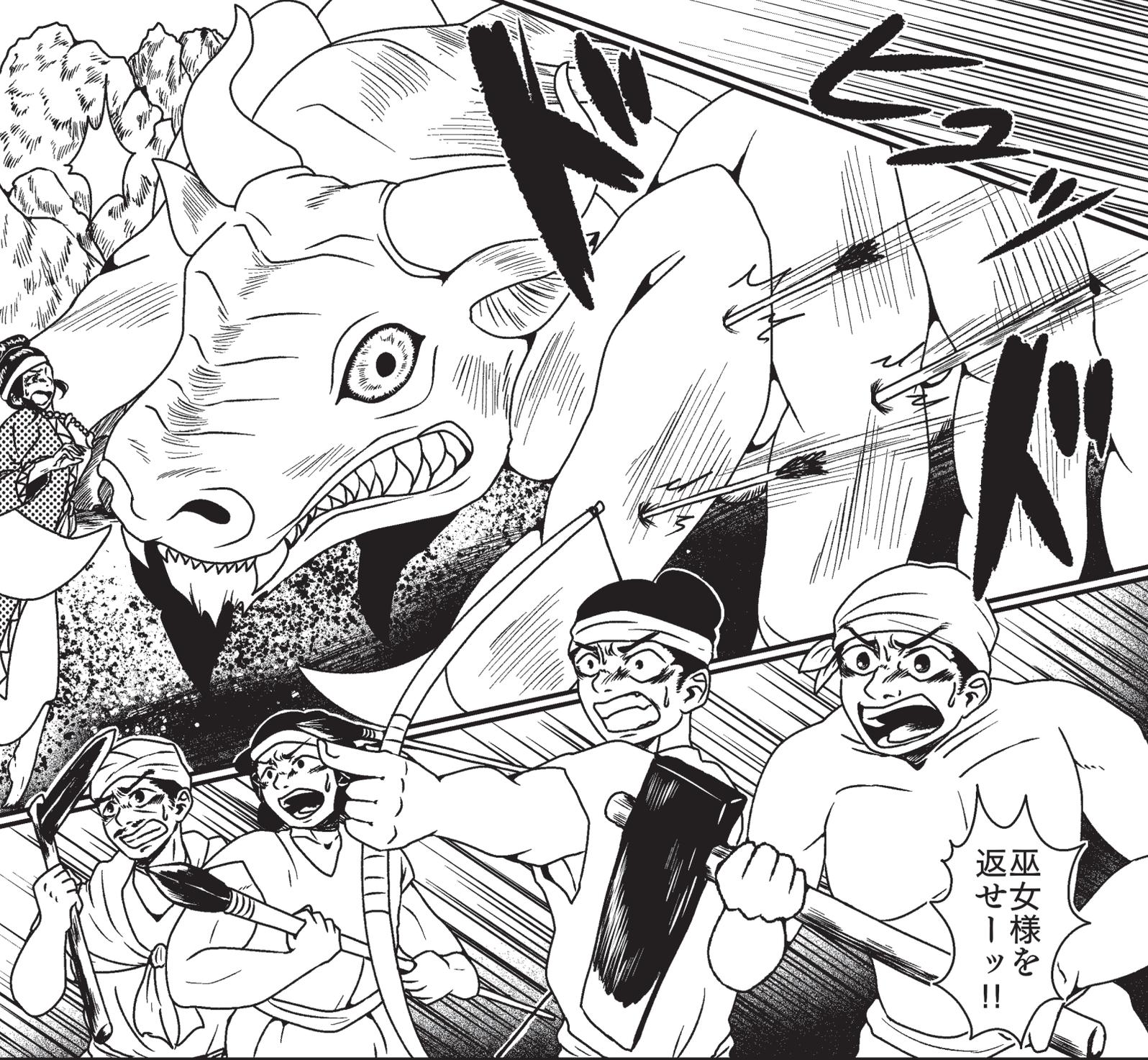




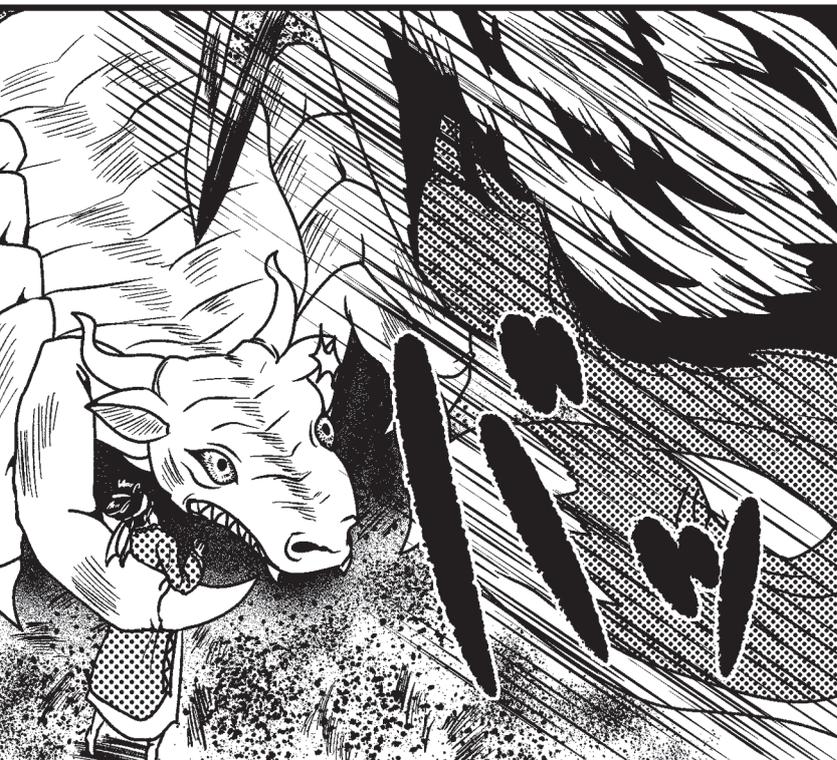


ひっ!!

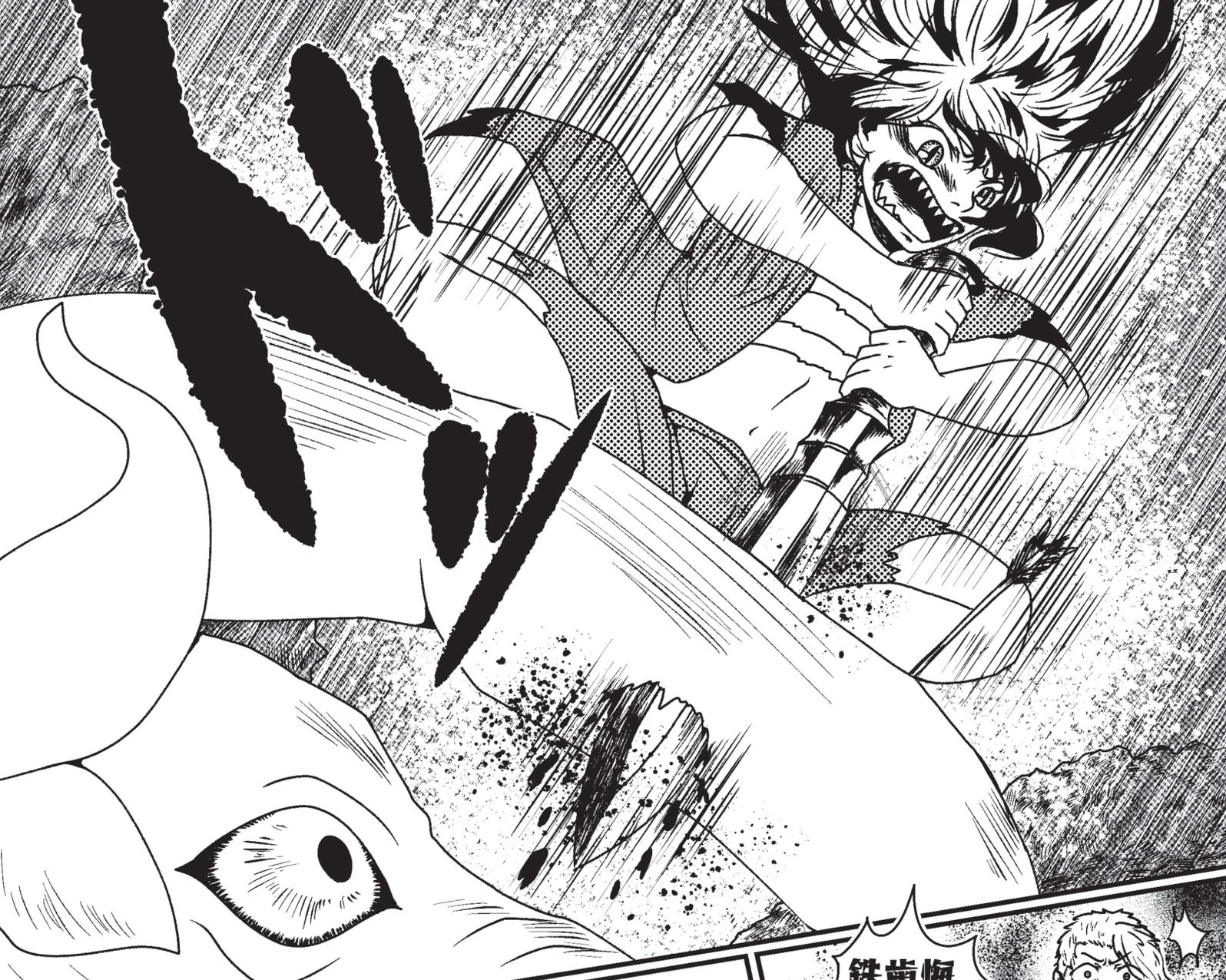
しまった
巫女さん!!



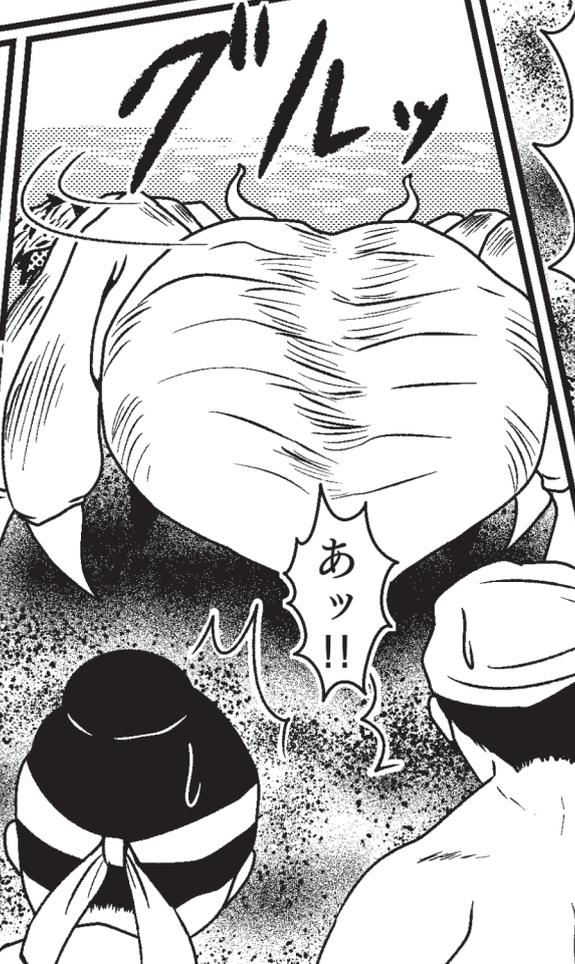
巫女様を返せーッ!!

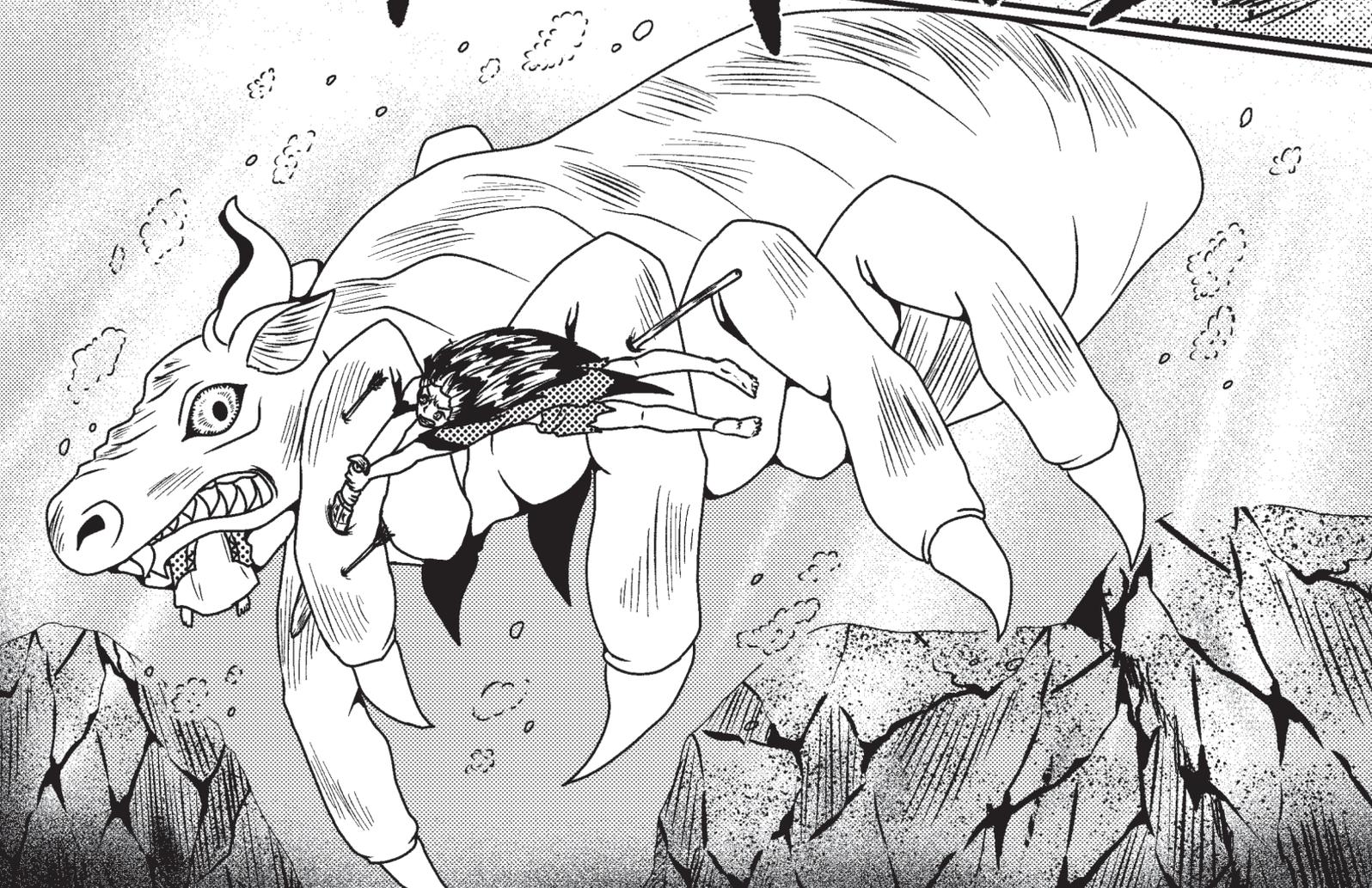
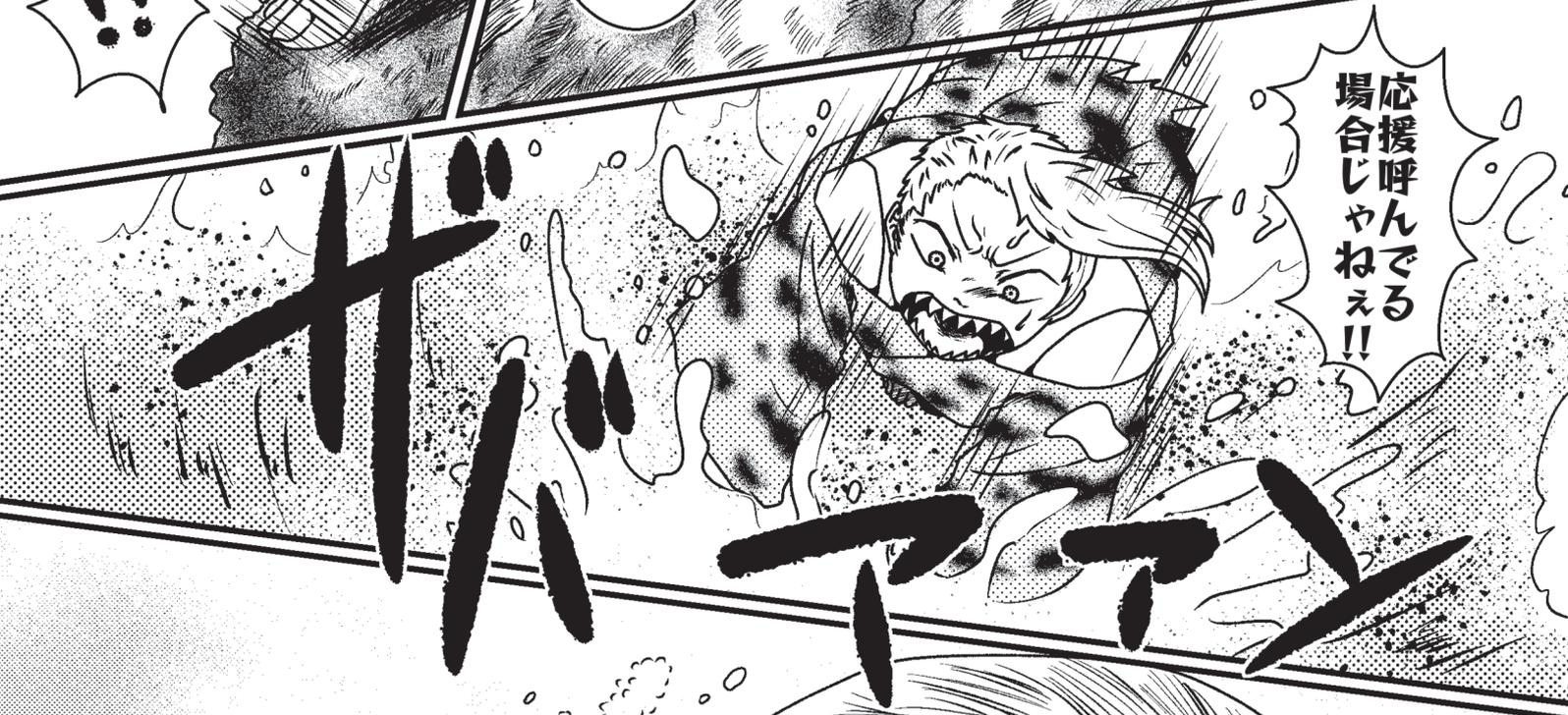


おいおい鉄っておいサメの歯より強えのかよ…
オレ達の出る幕ねえ…



悔しいけど
歯がダメなら
鉄使ったらあ!!



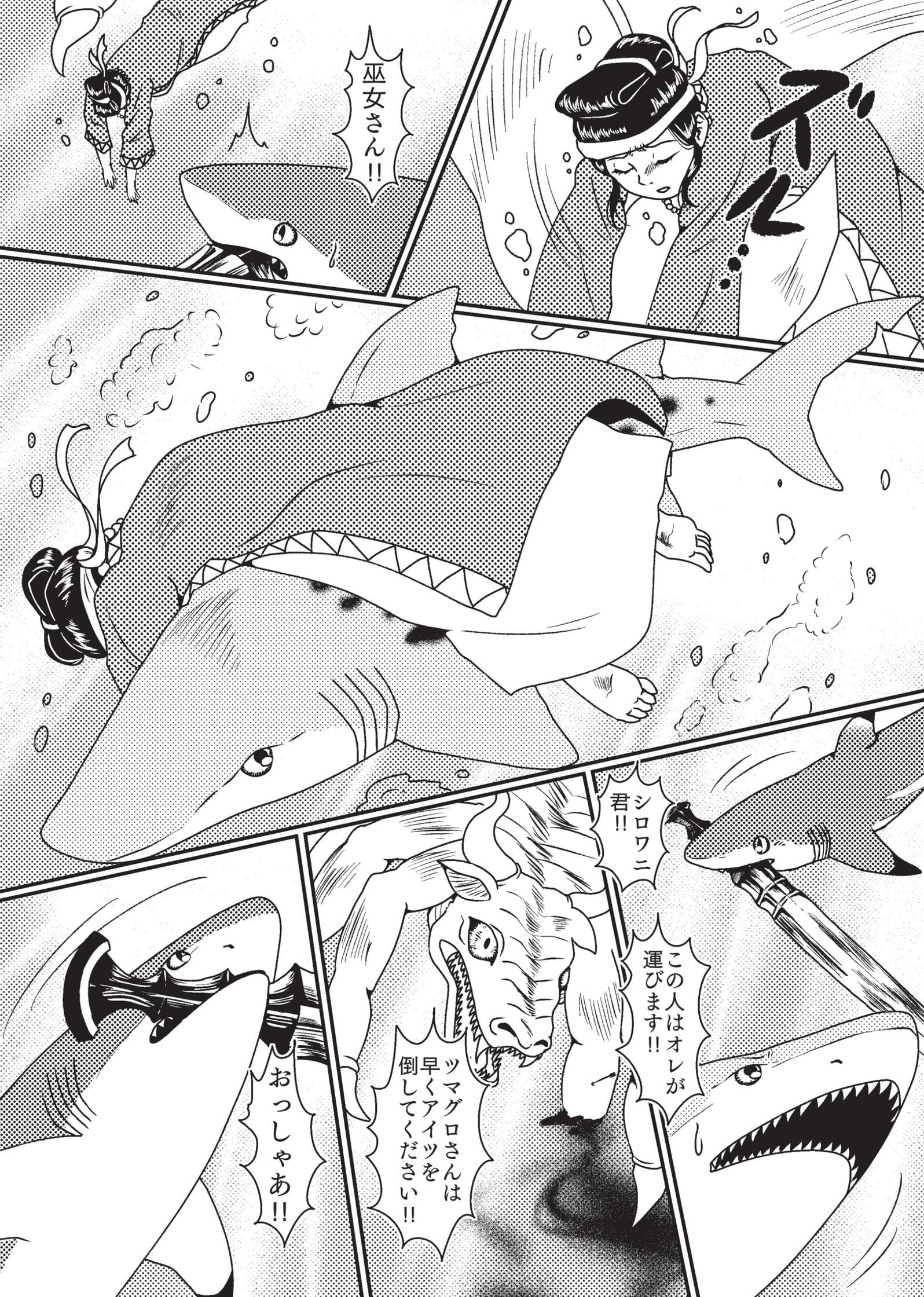




…しょうがねえ
こうなったら!!

このままじゃ
巫女さんの
息が持たない!!





巫女さん!!

ズム

シロワニ
君!!

この人はオレが
運びます!!

ツマグロさんは
早くアイツを
倒してください!!

おっしやあ!!

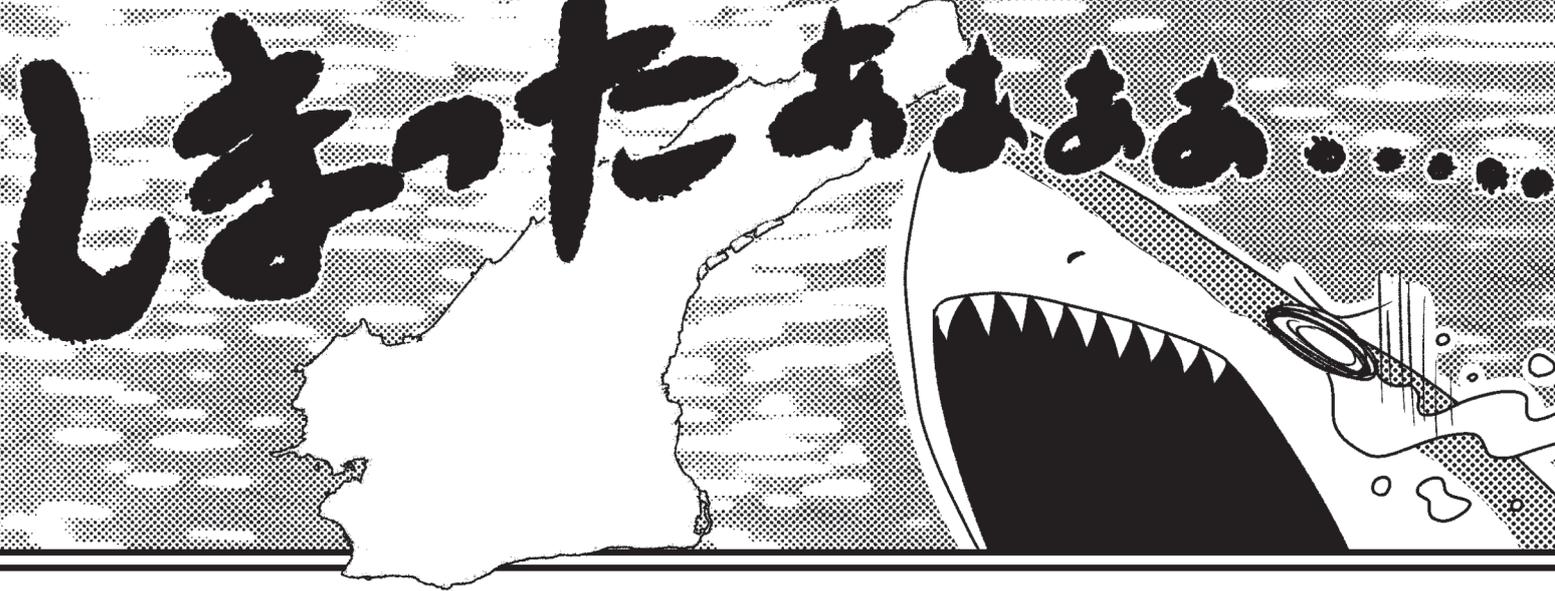
あんたはもう人間はもう弱い生き物じゃないんだよ

海を渡って鉄の武器を得て…人間は大きな進歩をしたんだ

きっとこの先もこの海から未来へ進んで行く…あたし達が想像も出来ないくらい未来へ!!

あんたにその未来を奪わせない!!





オオワダツミ
の社やしろ



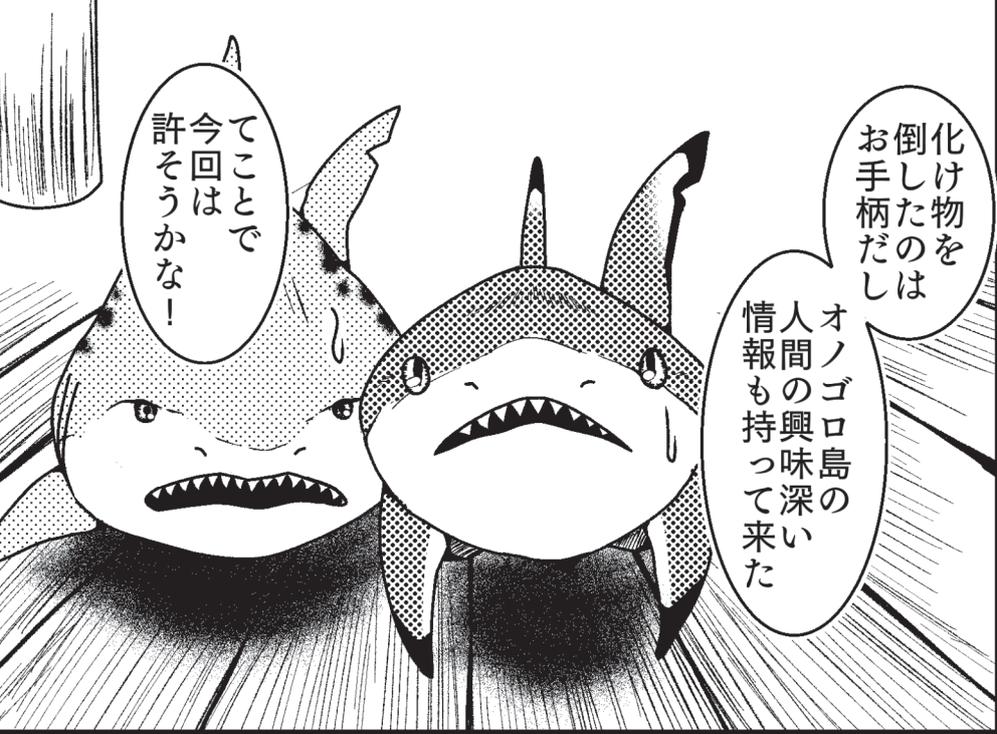
よって我が眷属けんぞくを
辞め立ち去る
ことを命じる

ひゃい...

ツマグロ：
お前は人間の前で
変化を解き
正体を見せた

海の番人の
掟に反する
ことじゃ



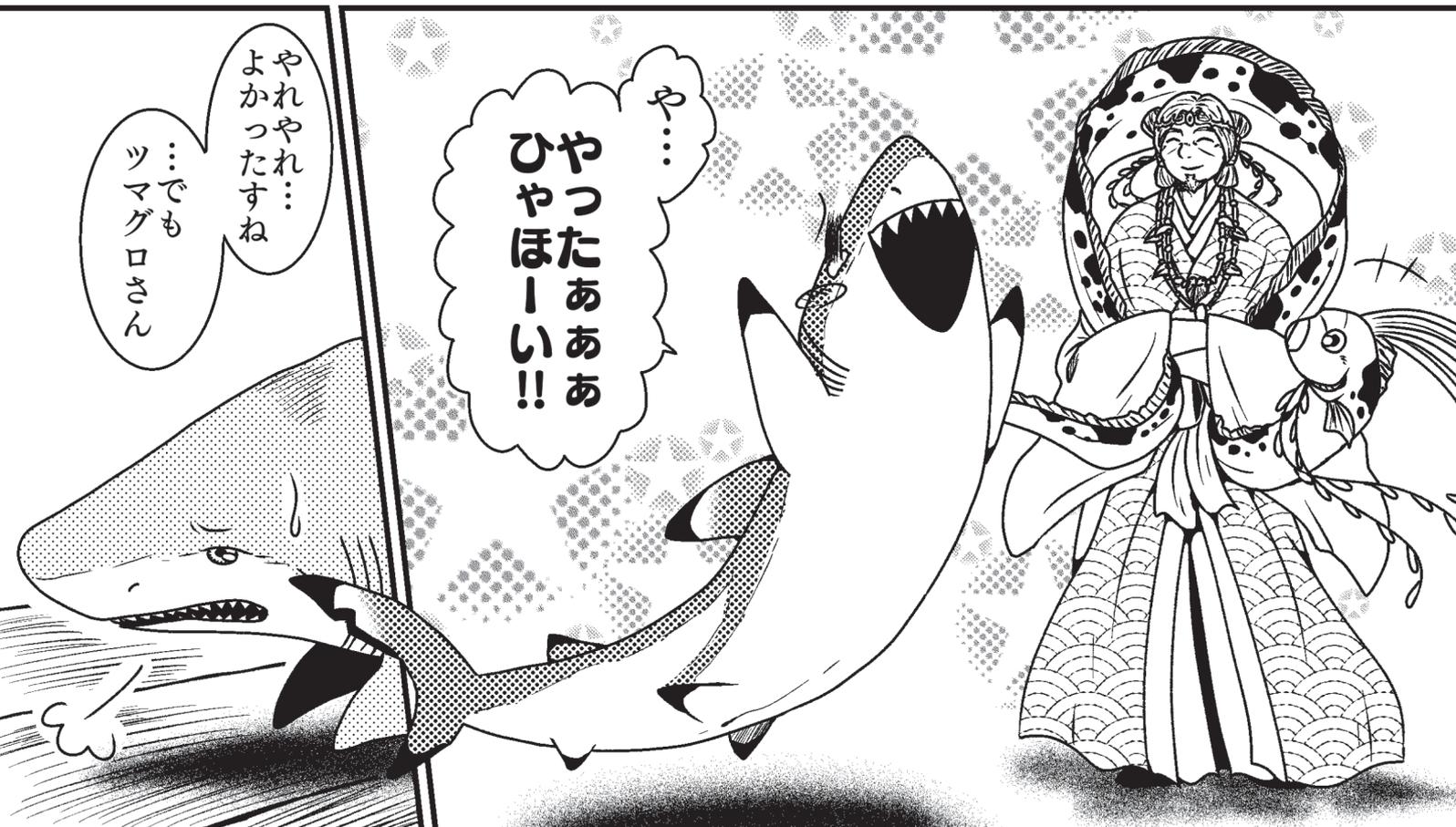


てことで
今回は
許そうかな!

化け物を
倒したのは
お手柄だし
オノゴロ島の
人間の興味深い
情報も持って来た

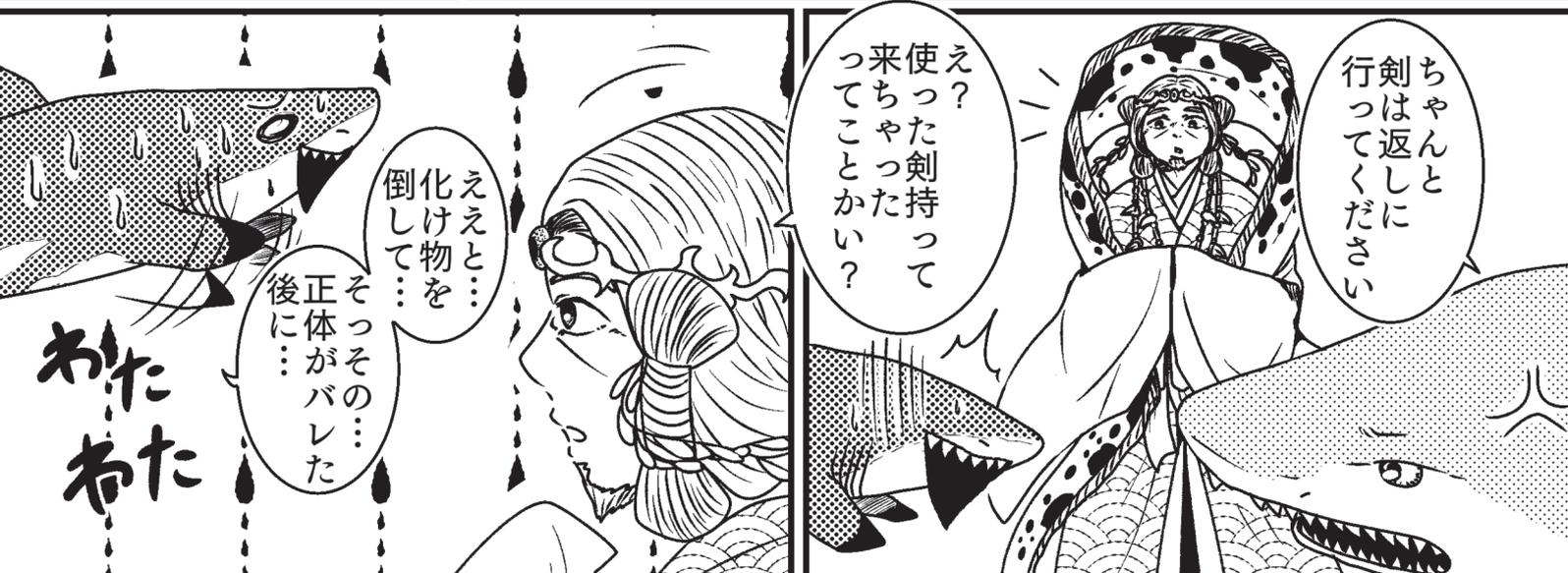


…と
言いたい
トコ
だけど…



やれやれ…
よかったすね
…でも
ツマグロさん

や…
ひやつたあああ
ひやつたほーい!!



おた
おた

ええと…
化け物を
倒して…
そっその…
正体がバレた
後に…

え?
使った剣持って
来ちゃった
ってことかい?

ちゃんと
剣は返しに
行ってください



剣持って
そのま
逃げち
ました
…い

でも…
鉄の剣
って
強いん
ですよ
!

もつと
オノゴ
ロ島の
剣を
集めて
皆に
配りま
しょう
!

鉄の武器
と
海の番
人の力
を
合わせ
れば
怖い物
なしで
すよ!!

あ…し
あ…ら
ち…



っはあ
何言
ってん
すか…

その
心意
気や良
し!

…と
言いた
いけど



さすがに
返して
きなさい

その後…
彼女が
自分の
剣を
手に入
れて

「サヒモ
チノカ
ミ」と
名を変
えるの
は
また別
のお話
…

ズズズズ